

—過去の噴火から考える—

企画展

# 吾妻山と御嶽山

2024年7月13日[土]～11月30日[日]

磐梯山噴火記念館 企画展示室

第1弾

シンポジウム

ハルゼいざか

火山防災シンポジウム

吾妻山の噴火/御嶽山の噴火/福島県の火山防災

8月25日(日)  
(14:00～16:30)

第3弾

火山観察会

吾妻山

講師：藤嶋明彦茨城大学名誉教授

10月5日(土)

第2弾

火山防災授業

福島市立松陵中学校

吾妻山と御嶽山

講師：佐藤公

7月16日(火)

第4弾

子供向け講座

ムシテックワールド

吾妻山は生きている

講師：佐藤公

11月23日(土)

福島サイエンス屋台村という  
イベントの中で3回実施



磐梯山噴火記念館

福島県耶麻郡北塩原村松原字剣ヶ峯 1093-36  
TEL0241-32-2888 FAX0241-32-3281

URL://www.bandaimuse.jp Email:master@bandaimuse.jp



共催：磐梯山ジオパーク協議会  
全国火山系博物館連絡協議会

■会場：磐梯山噴火記念館・企画展示室 ■入館料：大人 600 円 / 中高生 500 円 / 小学生 400 円 ■開館時間：午前 8 時～午後 5 時 ■休館日：休館日なし

# 企画展「吾妻山と御嶽山」

2024年は明治時代の吾妻山の噴火から131年で、平成の御嶽山の噴火から10年という節目の年です。1893(明治26)年6月の吾妻山の噴火では、調査に入っていた研究者の2名が噴石で死亡しました。一方、2014(平成26)年9月の御嶽山の噴火では、山頂の火口近くにいた登山客63名が犠牲となり、昭和以降最大の火山災害となりました。

日本の火山防災は、今回の御嶽山の噴火が発生するまでは、火山の麓に住む住民のためのものでしたが、これを受けて、山頂の火口周辺に滞在している登山客や観光客にもしっかりと対応すべきと変わってきました。吾妻山は、山岳道路の発展により、想定される噴火口の1km圏内に、簡単に行くことができるため、多くの観光客が訪れています。この火口観光の火山が全国には多数あり、日本では今後火口観光防災に積極的に取り組んでいく必要があります。今回の企画展を通して、多くの人々が火口観光について真剣に考えるきっかけとなればと、この企画展を開催することにいたしました。

## 第1弾 火山防災シンポジウム(福島県との連携事業)

開催日時：2024年 8月 25日(日) 14時～16時30分

開催場所：パルセいいざか

内 容： 「吾妻山の噴火」 茨城大学 長谷川健氏  
「御嶽山の噴火」 産業技術総合研究所 及川輝樹氏  
「福島県の火山防災」磐梯山噴火記念館 佐藤公

## 第2弾 火山防災授業

開催日時：2024年 7月 16日(火)

開催場所：福島市立松陵中学校

内 容： 「吾妻山と御嶽山」 講師：佐藤公

## 第3弾 火山観察会

開催日時：2024年 10月 5日(土)

開催場所：吾妻山

講 師：藤縄明彦 茨城大学名誉教授

## 第4弾 子供向け火山講座

開催日時：2024年 11月 23日(土)

開催場所：ムシテックワールド(福島サイエンス屋台村というイベントの中で3回実施)

講 師：佐藤公



一切経山から見る吾妻小富士と浄土平



多くの犠牲者が出た御嶽山の八丁ダルミ